

## <言語聴覚士> 日本言語聴覚士協会ホームページより抜粋一部改変して掲載

言語聴覚士とは、「話す」「聞く」「食べる」のスペシャリストです。私たちは『ことば』によってお互いの気持ちや考えを伝え合い、経験や知識を共有して生活をしています。『ことば』によるコミュニケーションには言語、聴覚、発声・発音、認知などの各機能が関係していますが、病気や交通事故、発達上の問題などでこのような機能が損なわれることがあります。言語聴覚士は『ことば』によるコミュニケーションに問題がある方に専門的サービスを提供し、自分らしい生活を構築できるよう支援する専門職です。



[>リンク](#) [>よくある質問](#) [>お問い合わせ](#) [>English](#)

Google 提供

[| 養成校の先生方へ](#) | [| 都道府県士会の方へ](#) | [| 資格をお持ちの方へ](#) |

[会員マイページへ](#) [ログイン](#)



日本言語聴覚士協会ホームページ <https://www.japanslht.or.jp/what/>

言語聴覚士は摂食・嚥下の問題にも専門的に対応します。『ことば』によるコミュニケーションの問題は脳卒中後の失語症、聴覚障害、ことばの発達の遅れ、声や発音の障害など多岐に渡ります。言語聴覚士はこのような問題の本質や発現メカニズムを明らかにし、対処法を見出すために検査・評価を実施し、必要に応じて訓練、指導、助言、その他の援助を行います。言語聴覚士は医療機関、保健・福祉機関、教育機関など幅広い領域で活動し、コミュニケーションの面から豊かな生活が送れるよう、ことばや聴こえに問題をもつ方とご家族を支援します。

当院の言語聴覚士は下記のコンセプトに基づきリハビリテーションを実施していきます。

わたしたち言語聴覚士は、  
対象者がその人らしいに合わせた  
食とコミュニケーションを  
享受できるように支援をする職種です

食(栄養を摂ること)とコミュニケーションは対象者が持つ権利です。

我々言語聴覚士はその与えられた権利を保障し、何らかの形で復権することを、

その人の意思決定に基づき支援していきます(享受=gift)



当院の言語聴覚士はエビデンスに基づく言語聴覚療法を行っていきます。

### 【失語・高次脳機能障害関連評価として行うこと】

- ・Kohs 立方体組み合わせテスト、レーブン色彩マトリックステスト、知的機能の簡易評価(JART)、HDS-R、MMSE-J、TMT-J
- ・WAIS-IV、BADs、RBMT、WMS、CAT/CAS、VPTA、SPTA
- ・SLTA、SLTA-ST、SALA、TLPA、CADL、STA、トークンテスト、物品と動作の呼称テスト
- ・認知症コミュニケーションスクリーニング検査(CSTD)

## 【失語・高次脳機能障害関連訓練として使用するもの】



・単語カード 300 枚×5 集(1500 語)

・構文訓練用カード

・2 コマ漫画カード

※その他に文字カードや

自主トレ用の課題も多数準備して

います。

## 【失語・高次脳機能障害関連訓練・支援機器】



単語訓練用アプリ

300 枚×3 集(900 語)

・タブレットでの理解・表出訓練課題

・音声ペン付属の会話ノート

・電気式人工喉頭

※その他タブレットの会話支援機器

も複数導入しています。

## 【摂食嚥下障害(構音障害)関連評価機器・訓練】

- ・適切な姿勢を検討するための嚥下評価専用の車椅子も導入しています(スワローチェア-II)
- ・多角的評価にもとづくバルーン法も実施しています。



## 【摂食嚥下障害(構音障害)関連評価機器・訓練】

- ・経皮的電気刺激装置も複数導入しています。



## 【摂食嚥下障害(構音障害)関連評価機器・訓練として使用するもの】

・数値化できる評価機器も複数導入し、定期評価による効果を確認しています(バイオフィードバック治療にも使用しています)



左上：健口くん(オーラルディアドコキネシス)

中央：TPM-02(JMS：舌圧測定器)

右上：ムーカス(口腔乾燥度評価)

左下：ブローイングトレーナー(呼気圧評価)

右下：タスクル(呼気圧評価)

## 【摂食嚥下障害(構音障害)関連訓練・自主トレとして使用するもの】

・呼吸訓練や舌圧、舌筋力向上、口唇の筋力向上を 自主トレでもできるように道具も導入しています



左上：長生き生活(呼気圧3段階)

右上：ぺこぱんだ(舌圧3段階)

左下：インリップス(口唇筋トレ)

右下：リップルトレーナー(口唇筋トレ)

※上記は一例です